

---

# **CORPORATE STANDARD BOOK**

Quality Company Design Book

---

**坂元鋼材株式会社**

# 1. 企業理念

良い会社をつくり、良い社会をつくる

## 経営理念

私たちは上質な仕事を通して顧客満足を追求し  
全社員の物心両面の幸福を実現します。  
小さくとも日本を代表する超一流の企業づくりを通して  
社会の発展に貢献します。

## 社是：永続

百年後も存在を許される価値ある永続企業たること

## 五信条

信用	信じられ、頼られ、用いられ続けます
成長	自分を鍛え、会社を磨きます
貢献	鉄を通じて、社会を支えます
卓越	私たちは業界最高峰のプロ集団です
団結	仲間とともに、全体勝利します

# 1. 企業理念

## どんな不況にもビクともしない強い会社 人の育つ良い会社

### 良い会社とは何か？

それは社会から求められ、社員が人生の基盤にできる会社です。上質な仕事を積み重ねることによってのみ、顧客からの信頼・信用をいただけます。結果として利益が蓄積し、どんな不況にもビクともしない会社となります。

会社とは社員の生活の拠り所（基盤）です。だからこそ、周期的に必ず襲ってくる不況に耐えうる**強靱な財務体質を持つ強い会社**でなければなりません。

### 社員の成長なくして会社の発展なし。

組織は個人の集合体であり、社員一人ひとりが徳と才を兼ね備えた人材に成長することが求められます。すなわち**人の育つ良い会社**でなければなりません。

職業以上に自分を磨くものではありません。さまざまな葛藤を克服する中で個人の能力を高め、人格を磨きます。

### すべての土台となるのが良好な人間関係です。

一人では出来ないことを成し遂げるために組織があります。助け合い、教え合い、支え合い、隣人と力を合わせて初めて上質な仕事が可能となります。

そして、**小さくとも日本を代表する超一流の企業をつくります。**

日本社会は無数の中小企業で成り立ちます。そのモデル（模範）となることで日本経済の復活と発展に貢献します。

良い会社をつくり、良い社会をつくります。

# 1. 企業理念

## 社 是

### 永 続

#### (百年企業たること)

「こんな小さな会社でも社員の家族を入れたら五十人が飯を食っている」これは2代目社長・坂元良三の言葉です。社員はこの会社に命を懸けている。だからこそ経営の土台を強固なものにし続けなければなりません。

1935年（昭和10年）の創業以来、戦前・戦後の混乱、数々の不況の波をかいくぐって今日があります。

好不況の波は繰り返します。鉄鋼業界のプレーヤーも時代によって変わり、そして九条の町も大きく変貌しました。一時の隆盛を誇ったとしても、あえなく消える会社も数え切れません。それほど継続は難しい。

一方で、日本には100年を超える長寿企業が世界一多く、2万社を超えます。老舗企業に共通しているのが、大切にしている価値観を守り続け、時代の変化に柔軟に対応していること。

当社は2051年に第100期を迎えます。そのことを一つの目標とし、百年後も存在を許される価値ある企業づくりをし続けます。

# 1. 企業理念

## 信 条

### 信 用

これには3つの側面があります。

まず「**対顧客**」。私たちが扱う商品の品質が確かであってこそ、お客様は信じて、頼って、用いてくださります。そうしてこそ仕事がいただけ、その対価の中から利益が生まれ、会社は存続を許されます。

つぎに「**対仕入先**」。私たちは鉄鋼という原材料を仕入れることが出来て初めて製品を作ることが可能となります。しかし信用がないとモノを売ってもらえません。私たちは昭和・平成・令和と続く会社の長い歴史の中で、数々の不況の波を経験しました。鉄鋼業界でも大きな店から小さな店まで、数々の企業の浮沈を目にしました。信用があってこそモノを売っていただけます。

そして「**対社会**」。経営にとって血液である資金繰りも同様で、信用がなければ金融機関は絶対にお金を貸しません。さらに、これから入ってくる未来の社員たちも会社を信用するからこそ応募し、入社を決断します。

ヒト・モノ・カネ、いずれも信用のあるところのみ集まります。

### 成 長

私は3代目として、父不在・未経験・戦後最大の不景気という3重苦の中で事業承継し、その苦境から痛感しました。無我夢中に働いたものの、それは原理原則を知らず、経営や商売のセオリーも知らぬ我流経営でした。

その挙句がリーマンショック後の大赤字でした。そして出会った数々の学びを経営に活かした結果、会社は徐々に発展していきました。

人は能力開発することによってのみ豊かさを手にすることが出来ます。

一人ひとりが一回限りの命を最高最大に活かすこと。すなわち成長を選択し続けることが企業発展の原動力であり、仕事を通じて自己開発することが人生の充実をもたらします。

# 1. 企業理念

---

## 貢 献

人はこの世に生まれ落ちて、やがて世を去ります。その時間の総和である「人生」で何をなすべきか。人生で最も活力ある年代の、もっとも活動的な時間を投じるのが会社での仕事です。

職業を通じて顧客満足をつくりだすこと。良い仕事を重ねて利益を最大化させ、納税により社会に貢献します。

そして「小さくとも超一流の企業づくり」を実現することにより、中小企業で構成される日本社会のモデルとなります。

## 卓 越

信用と信頼は質（クオリティ）から生まれます。

プロとアマの違いは質へのこだわり。

プロは人が喜ぶ、アマは自分が喜ぶ。

人を喜ばせて、ナンボです。

## 団 結

人は1人では1馬力。仲間と力を合わせて初めて多馬力となります。

そのために一致団結をつくり出し、組織力を高めます。

自己中心性を乗り越えて「全体勝利」をつくり出します。